

第10期（令和2年度）

総会資料



日 時 令和2年4月12日（日）18:00～

会 場 北名古屋市文化勤労会館
北名古屋市法成寺蔵化60番地

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区
地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

第一部 開会式

開会の言葉

国旗儀礼、国歌斉唱

協議会長挨拶

スカウト紹介

富士スカウト・隼スカウト

保護者アンケート報告

コミッショナー

井上協議会長

コミッショナー

団担当コミッショナー

第二部 議案審議

議長選出

書記選任

総務委員会

総会成立確認

定足数確認報告

(議員数 名)

事務局

出席 名 委任状 名

議案

第1号議案 令和元年度事業報告の件

地区委員長、各運営委員長、
ローバース代表、コミッショナー

第2号議案 令和元年度決算・会計監査報告の件

事務局 会計係、監事

第3号議案 令和2年度事業計画（案）の件

地区委員長、各運営委員長、
ローバース代表、コミッショナー

第4号議案 令和2年度予算（案）の件

事務局 会計係

第三部 閉会式

副協議会長 挨拶

佐々副協議会長

連盟歌斉唱

指揮 石川圭祐 氏

国旗儀礼

コミッショナー

閉会の言葉

令和元年度（平成31年度）事業報告

令和元年度（平成31年度）においては、「基本原則」に沿ったスカウト活動ができるように、各団への支援を強化し、愛知連盟中期計画に基づき『輝け！！愛知のスカウトたち！』この活動の存在価値を明確にし、「スカウト数の増加」スカウト対象学年数100人に対し0.8人を、「指導者の養成（確保）」を推進して参りました。地区内全体ではスカウト数比率は目標には届きませんでした。又、スカウトが、活動を楽しみながら自身が成長と成果を実感し意欲を高める機会を提供しスカウトの喜びを実現するべく支援をして参りましたが、進歩については、関係者のご尽力にもかかわらず地区編成以来、初めて富士スカウトへ進級がありませんでした。進級支援が不足と感じました。少人数編成の団においては近隣団との合同集会などを提案しパトローリングシステムの展開できる活動を推進し、コミッショナーグループによる団訪問等による団への支援を強化しました。他団へ活動見学を行う取り組みで活動の参考になるよう推進しました。BS・VS部門への高度な野外プログラム支援、BVS・CS部門への年代別プログラム支援を行い、指導者育成の充実を図りました。ウッドバッジ研修所・実修所の課題研修等のトレーナーによる一貫支援を行い指導者の資質向上を目指しながら、冒険的な野外活動や国際プログラムをスカウトへ適切に指導提供できる指導者の育成をし、定型訓練・定型外訓練への参加を促すだけでなく自己研鑽をしながら社会人としての資質を高め、スカウトを成長させる事の喜びが感じられる指導者の育成を達成するため、インサービス・サポートの推進をし、ラウンドテーブルを研修の場とし、野外救急法（WFA）等国際資格取得へ支援しての充実を図りました。令和元年度は第24回世界スカウトジャンボリー、ベンチャースカウトフィルモント派遣と海外派遣事業へ支援をしました。社会貢献活動目標として防災士・防災ボランティアコーディネーター養成講習会への参加育成をしました。昨今問題となっています、セーフ・フロム・ハームを重点的に推進しました。最後に、各団関係者の皆様方が努力されたのも関わらず、第一の目標であったスカウト数の増加、中途退団抑止について、一部の団で目標達成されておられますが、多くの団では達成することが出来ませんでした。空白地域の岩倉市への新団発足においては、地域の皆様へ啓蒙しておりますが目標達成とは成っておりません。地区支援サービスを強化し継続活動して参ります。

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 「広報部会・事業部会・ツール部会」の3部会を設けて、事業を分担・推進しました。積極的に取り組んで頂いていますが、各委員の負担に偏りがありますので、改善を検討します。
2. 委員会の会場は、委員の希望により毎回レディヤンかすがいいとしました。
3. はやぶさは、1ページ目に地区役員挨拶を配置するなど紙面構成を見直しました。
4. 組織拡充に関する講演会を開催しましたが、参加者が少ない状況でした。次回に向けて再検討します。
5. 昨年度企画したクリアファイルの在庫900枚あり、1枚40円で有償頒布となっていますが、実績ゼロでした。PRを検討します。
6. 県連図画・写真コンテストへの作品応募は多数ありましたが、審査員（技能章考査員：絵画・写真）が確保できませんでした。技能章考査員の募集を検討します。
7. 地区ホームページ・フェイスブックについて、組織・拡充委員会の関与が少ない状況ですので、取り組みを検討します。

スカウト進歩委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 進級目標達成度
 - ① 富士スカウト章修得者 0名 目標 0名 達成率
 - ② 隼スカウト章修得者 4名 目標17名 達成率19%
 - ③ 菊スカウト章修得者 13名 目標22名 達成率75%
 - ④ 1級スカウト章修得者14名 目標50名 達成率35%ボーイ部門は全てのスカウトが新進級制度に移行しました。2級スカウトは昨年より増えましたが菊スカウトは昨年の反動もあり少なくなりました。
ベンチャーの進級は殆どありません。地区、団を挙げて進級の支援の必要があります。
2. 技能章講習会の実施
新しく薬事章講習会を開催、多くの参加が得られました。パイオニアリング章講習会も開催を計画していましたが日程がうまく合わず実施出来ませんでした。新たに自転車章講習会を実施しました。
3. カブブックの早期完修とビーバー小枝章5個の取得
カブブックの完修に関しては半数以上のスカウトが12月までには完修しました。
ビーバーの小枝章については団によりばらつきが大きい状況です。
4. 定例会議の活性化
運営委員会出席率75%昨年と同じでした。欠席の団は決まっています。
情報交換会にて色々な意見、案が出ましたが、聞くだけに終わりました。来期は同じテーマを2・3回続け、より有意義な情報交換会としたいと考えています。
5. 講習会奉仕
奉仕いただける方の偏りは昨年同様でした。改善を図ります。

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 定型外訓練
全6回の定型外訓練を実施しました。延べ参加者数は63名で、参加者数は減少しています。
参加者拡大が次年度の課題です。(昨年度は全6回の訓練で88名の参加でした)
3月22日開催予定の「野営法研修会Ⅱ」は中止しました。
2. 3地区合同定型外訓練
今年度はBS部門の隊指導者を対象として開催しました。当地区からの参加者は11名(上記訓練参加者数に含む)でした。
3. 県連盟主催定型外訓練(課程別)
CS・BS部門の参加者が6名(上記訓練参加者数に含む)でした。
4. 定型訓練
ボーイスカウト講習会(31-11) 参加者 18名
ボーイスカウト講習会(31-17) 中止
WB研修所(SC9期) 参加者2名
WB研修所(S10期) 参加者2名
WB研修所(SC11期) 参加者2名
課程別研修(全課程) 参加者6名
WB実修所(VS31期) 参加者0名
団委員研修所参(40期) 参加者2名
(全参加者32名・昨年度は79名)
5. 県連盟70周年記念事業への参画(記念植樹)
2月9日、新城吉川野営場に地区の「木」として「キンモクセイ」を植樹しました。
6. 運営委員会
年間6回の委員会を開催しました。(平均参加率は75%)
委員会の都度、訓練奉仕修了の委員から評価と反省点を発表頂き、次の訓練奉仕に繋げています。
委員会での協議・研究課題として、定型外訓練の充実と拡大を継続します。

行事・国際委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 海外・国内派遣事業として、下記5事業への派遣及び派遣準備しました。
 - ① 第24回世界スカウトジャンボリー大会派遣(令和1年7月21日～8月5日)
アメリカ合衆国ウェストバージニア州サミット・ベクトル保護区
・地区より、派遣スカウト12名、派遣隊指導者2名、本部役員2名、IST1名、計17名派遣しました。
 - ② 第30回フィルモント派遣(令和1年7月21日～8月7日)
アメリカ合衆国ニューメキシコ州シマロン
・地区よりベンチャースカウト2名、指導者2名、計4名派遣しました。
 - ③ 次世代グローバルリーダー研修派遣(令和1年6月7日～10日)

韓国ソウル市（ソウル北部連盟）

- ・地区より VS/RS 担当副コミッショナー各 1 名、計 2 名派遣しました。
派遣事業を各団へ参加者募集と参加希望者向け地区面接を実施しました。県連への推薦、壮行会や結隊式等の支援を行い、各事業に多くのスカウト・指導者の派遣ができました。
参加したスカウトの自己目標の達成、今後の活動・活躍に期待します。
フルモント派遣隊指導者として当地区より、隊長・副隊長各 1 名、計 2 名の派遣を行いました。
両名は参加スカウトが安全にトレイル完遂できるよう細心の注意・助言、生活指導を行い、無事完走ができました。

「愛知連盟ハイアドベンチャー2020」と「第 14 回ソウル北部連盟ローバース緑化プロジェクト」は参加準備致しましたが、新型コロナウイルス感染防止対応のため中止、延期となりました。

2. 第3回東海4県連盟合同野営大会（3TC）参加に向けた支援（令和2年8月7日～12日）

岐阜県高山市日和田高原ロッジ・キャンプ場

仮申込手続き取りまとめを行い、派遣6個隊、SHQ/GHQ 奉仕者募集を実施しました。4月中頃の確定申込、その後の編成隊訓練、大会参加に向けた各種支援を実施します。

3. 各団から提出されました「野舎営届」「県外旅行申請書」の提出状況をまとめ、地区委員会や団委員長会議、行事・国際委員会で報告しました。提出漏れ防止と提出確認を実施しました。

特に野舎営届書式が改定されましたので早期の全面適用に努め、100%適用が図れました。

4. 「セーフ・フロム・ハーム」への取り組みとして、委員会として研修会へ参加しました。

5. 「緑の募金」21 個団、約 40 万円の募金、「スカウトの日」20 個団、活動しました。活動結果をとりまとめ県連事務局や地区内へ報告しました。

6. ボーイスカウト愛知連盟創立 70 周年記念ボーイスカウトの集い「あいちスカウトデー」

久屋大通公園（令和元年 11 月 10 日）

愛知連盟創立 70 周年を県内スカウト関係者が名古屋市久屋大通公園に集まり、70 周年をお祝いしました。地区からも多くのスカウトが参加しました。参加者用体験ブースも設け、盛況でした。

7. 県連の行事・国際委員会が年 6 回開催され、内容を各団行事・国際委員へ報告しました。

8. 委員会出席率が前年度より約 10 ポイント下がってしまいました。出席ゼロの団も 1 個団ありました。全団からの出席を目指すとともに、委員会運営方法の改善を検討し引き続き出席率向上に努めます。

総務委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. インシデント報告（ヒヤリハット報告）を今年度も実施し、報告数は1件でしたが、委員会開催時に安全促進を啓蒙しました。（事故報告 1 件）
2. 危機管理体制連絡網の整備を、各団（各隊）に依頼しました。
3. 「防災ボランティアコーディネーター養成講座」への参加者3名の目標は達成できました。
また、「防災士」の育成につきましては、「防災・減災カレッジ」募集要綱を配信するにとどまり、次年度の課題となりました。
4. 「全国防災キャラバン」をイオン春日井ショッピングセンターにて開催し、参加者506名と大盛況で終了できました。ただ新規入団までは至らないので、今後の課題となりました。
5. 県主催「セーフ・フロム・ハームセミナー」（団委員長対象）は、全団講習終了しました。

尾張東地区ローバース Frontier

事業報告

総会・第1回定例会：28 人

第2回定例会：17人
第3回定例会：14人
第4回定例会：16人

夏季アクティビティ：14人

9/14-16の3日間、青年会議所イベントのブース出展と防災キャラバン奉仕を中心としたアクティビティを実施しました。昨年までとは違い、レクリエーションをメインとした内容ではなく、奉仕をメインとした内容であったこともあり、RS活動を活性化させる良い機会でした。

評価反省

定例会の参加人数は年間を通してあまり減少はありませんでした。しかし、定例会への参加人数がここ数年と比べ10人ほど減っており、地区ローバースへの参加を促す方法を検討していく必要があると感じました。

今年は全体を通して、奉仕の多い一年でした。小牧山親子ラリー、青年会議所イベントや防災キャラバン等さまざまな活動をさせていただきました。

なかでも、防災キャラバンでは今回、計画から携わらせていただいたことで、地区ローバースとしてのスキル面での課題を認識することができ、よい経験を得ることができたと感じました。

コミッショナーグループ

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

【コミッショナー】

本年度は24WSJとフィルモント派遣の2つの国際大会が行われました。24WSJについては春日井少年自然の家で派遣団の事前訓練が行われたため、宿泊施設の予約、日程調整および壮行会を含む食事手配などの支援を円滑に行うことができました。

地区内TTについては、OJTによるチーム員のスキル底上げを狙って取り組みましたが、期待した成果が出ていないと感じています。また、新しいチーム員が加入しておらず、次世代を担うトレーニングスタッフが不足していることも、新しい問題点であることを認識しました。

7～8月にかけて、保護者アンケートを実施し、団担当コミッショナーにより分析を行いました。

保護者のニーズ、問題意識など、色々な問題が明確となり、以後の活動への改善に大きく役立ったことは評価できました。

スカウト活動における問題は、組、班制度に関連する問題が大きく、CSについてはDL制度が活用できておらず、とすると活動におけるDLの意味が団でよく理解されていません。CS、BSは同様に組、班制度が成り立っていないところがあり、近隣団での集会を推奨しましたが、担当コミの力不足でマネジメントがうまくできませんでした。地区コミとして指導が足りなかったことを反省します。

VSは危機的な状況の一年でした。新進歩における進歩が完全に停滞しており、富士スカウトは0を記録しました。担当コミの指導に大きな問題があるのではなく、各隊長および団としてVSの教育的支援への理解と関心が薄いことが問題であると分析しています。

これらについては、担当コミッショナーとともに反省し、次年度における最重要課題とします。

地区救急チームは本年度新体制となり、新たに薬事章について講習会を行うなどしました。

チーム員についても、基本的に医療従事者中心の編成を次年度以降も行い、スカウト活動を安全に行えるためのスペシャリスト集団として位置づける初年度になりました。また、ウィルダネスファストエイドおよび日本赤十字会の研修などを通しての研鑽も行えていることは評価できるため、次年度以降も研修計画を策定して継続を考えています。

【BVS部門】

ビーバースカウトの特性及び部門間の繋がりを理解したプログラムの立案ができるようにRTで研究を

行ってきました。ビーバーの活動をカブやボーイに置き換えるとどういう活動なのか。そことのつながりでビーバーでできることは何なのかを具体的にキャンプファイヤー、野外料理、社会体験、交流、ちかいとおきてについて研究をしてきました。隊長たちの理解は深まったと感じています。

定形訓練、定形外訓練への参加は示した数には足りなかったので参加の促しをもう少し積極的にするべきだったと反省します。

エリアごとの合同隊集会は3月に北エリアと春日井エリアが計画されていましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。時期BVSラリーに向けてはエリア別で行うことを予定しています。

【CS部門】

1. 年代の特性と進歩制度のねらいを基に、スカウトの成長に寄与できるような運営やプログラムの協議・研究ができました。各団での実施・活用には不十分な点もあり、更に積極的に取り組めるように考察をし、ラウンドテーブルへの期待度・満足度に応えられるようにします。
2. 隊訪問の実施が、1個団のみとなってしまいました。各団における現状を把握するためにも、隊訪問を積極的に実施できるように調整をします。
3. 近隣団における合同隊集会将既存の実施に任せているため、活動内容の把握に努める必要性と、実施ができない団の現状把握を行い、支援を考察します。

【B S部門】

ラウンドテーブルでは、指導者に対してスカウトへの進級、進歩に必要となる知識、スキル支援を実施しました。また、少数団（班）への合同隊集会の推進・支援の結果、半分程度の団で合同隊集会の実施展開が行われましたが、合同での班長訓練や班集会の実施できていない状況でした。進級課目と結び付けたプログラム展開が十分にできていない部分が浮き彫りとなりました。

次年度はその点を踏まえ、3TC向け指導者を支援するとともに、3TC後も広域的な範囲で、集約した複数班活動ができ、確実な進級・進歩が図れるよう継続支援を行います。

【V S部門】

現在、地区には100名のベンチャースカウトがいますが、隼スカウトが1名しかおらず、富士スカウトは0名です。また、8月末の保護者アンケートでもVS部門に対する保護者の信頼度は全部門の中で最低でした。

VS活動を充実させることと理解を得ることの両面に大きな課題があることが浮き彫りになっています。

8月の24WSJ、フィルモント派遣、9月の防災キャラバン奉仕等、ベンチャースカウトの活動の場が多くありましたが、その体験と進歩がなかなか結び付いていません。

年度末の地区VS大会の実施は残念ながら中止となりましたが、VSに求める活動レベルや指導者の支援の在り方等を指導者が学ぶよいきっかけとなりました。課題の解決に向け、部門とともに各団の協力を要請します。

【R S部門】

1. ラウンドテーブルの出席率は低水準のままで、すべての団に対する支援には至っていません。
2. 地区ローバースの活動に対しては、定例会やアクティビティの運営支援を行いました。しかしながら、アクティビティの内容は懇親を深める内容が中心となっており、冒険的要素・社会奉仕要素を含んだ内容には程遠いものとなっているのが現状です。次年度以降は懇親を深め、定期的な活動の基盤づくりをしたいというローバースカウトのニーズを踏まえつつも、ハイレベルな活動を促進するため、定例会の実施回数増加およびアクティビティ内容のレベルアップを検討しています。

【団 担 当】

1. 少人数団（隊）の活動に対して助言と支援を行います。目標3件
 - ・近隣団の隊集会见学及び体験集会参加、見学をしました。
 - ・支援を重点団6ヶ団へ提案しました。
 - ・16ヶ団の団総会へ出席しました。
 - ・退団防止の為に保護者アンケートを実施、報告会を開催しました。

2. 団訪問、情報提供及び団委員長サミット等による団活性化の支援をします。目標全個団
 - ・団活塾への参加推進をしました。全団参加には至らず継続して推進します。
 - ・団活塾にて加盟員増加に向けて研究をしました。
 - ・参加団で団運営に取り組みました。欠席団へは後日支援を行いました。
 - ・エリア毎の討論会によって団の現状分析からの自団の「スカウト教育法」を用いて活動出来るよう意見交換を行いました。団の意識を向上させることは出来ましたが、重点団への継続支援は必要と考えます。
団担当へ気軽に支援依頼できるよう、担当団の変更を行いました。
団訪問を継続して行います。
3. スカウト増員を目的とした調査と団活動を支援します。
 - ・防災キャラバン開催企画を積極関与し、VS・RSの協力推進、地域との協力推進することが出来ました。
 - ・地域毎に、募集に関しての合同企画に参加と見学・支援が出来ました。
 - ・市町にて合同で開催の募集活動を企画段階から支援することができました。(合同 江南1+3、小牧1+2 単独支援は尾張旭1 春日井のイベントを6個団で開催)

事務局

事業報告

1. 愛知連盟会議出席・奉仕しました。
 - ・県連総会 令和元年6月16日 受付業務を行いました。
 - ・事務長会議
年2回 令和元年7月6日、12月3日
 - ・70周年記念誌部会に参画し、記念誌の作成に携わりました。
2. 地区委員会／団委員長会議、他会議の招集開催を致しました。
 - ・地区委員会 9回開催
 - ・団委員長会議 3回開催（団サミット含）
3. 会議資料作成などの事務作業を行いました。
 - ・県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を推進しました。
4. 行事費、登録費等会計に関わる資金管理を致しました。

評価反省

事務長会議、諸会議において情報収集、情報交換を積極的行いました。
地区への情報展開を速やかに行い諸事項について各委員会との協働で遅滞なく各団宛展開することができました。一部、情報量が多大のため情報展開が遅れました。

令和元年(2019年)度会計決算報告

1. 一般会計

<収入の部>

(単位: 円)

科 目	予 算	決 算	摘 要
1 前 年 度 繰 越 金	573,186	573,186	
2 地 区 費 (継 続 登 録)	1,207,400	1,207,400	20,000×22団+600×1,279人
3 地 区 費 (追 加 登 録)	50,000	35,600	追加登録 65人
4 県 連 回 付 金	80,000	35,972	
1) 訓 練 研 修 費	50,000	23,000	BS講習会、技能章講習会
2) 緑 の 募 金 還 付 金	20,000	12,972	緑の募金補助金
3) そ の 他 還 付 金	10,000	0	
5 雑 収 入	10,000	11,710	祝儀、利息、70周年ブース余り
6 積 立 金 か ら 取 り 崩 し	370,000	370,000	
合 計	2,290,586	2,233,868	

<支出の部>

科 目	予 算	決 算	摘 要
1 訓 練 研 修 費	360,000	336,807	
1) 指 導 者 講 習 会・研 修 会	50,000	2,749	BS講習会、各研修会支出ー参加費 (100,249ー97,500)
2) スカウト技能章講習会	40,000	11,178	技能章、フォーラム支出ー参加費 (81,178ー70,000)
3) コミッショナー研修会	270,000	322,880	コミッショナーグループ研修
2 行 事 費	180,000	139,960	
1) 組 織 拡 充 支 援 金	120,000	99,744	アンケート封筒、印刷費、切手(49,200)
2) ペンチャー行事費	40,000	18,162	
3) ローバー行事費	20,000	22,054	地区ローバース活動費
3 事 業 費	940,000	691,791	
事業費			
組 織・拡 充 委 員 会	200,000	156,166	地区機関紙(73,762)、HP維持費、クリアファイル(64,260)
指 導 者 養 成 委 員 会	50,000	34,427	旅費、活動費、資料代他
スカウト進歩委員会	50,000	43,719	"
行事・国際委員会	80,000	42,414	"
総 務 委 員 会	50,000	44,898	旅費、活動費、資料代、防災キャラバン
コ ミ ッ シ ョ ナ ー	250,000	215,424	トレーニングチーム経費、救急チーム経費、旅費、資料代
事 務 局	50,000	39,069	スカウトあいち掲載料 (30,000)
運営費			
会 議 費	140,000	94,200	会場使用料
事 務・通 信 費	20,000	6,474	振込手数料
慶 弔 費	50,000	15,000	香典
4 備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品
5 大 会 関 係 積 立 金	200,000	200,000	日連、県連各大会
6 大 会 支 援 金	370,000	370,000	24WSJ、フィルモント、日韓グローバルリーダー
7 繰 越 金	190,586	445,310	
合 計	2,290,586	2,233,868	

2. 特別会計

科 目	前年度残高	H31年収入	H31年支出	次年度繰越	摘 要
1 備品購入積立金	348,830	50,000	0	398,830	
2 全国大会関係積立金	2,050,000	200,000	370,000	1,880,000	大会準備金
合 計	2,398,830	250,000	370,000	2,278,830	

令和 2 年 3 月 29 日

監 査 報 告 書

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会
協議会長 井 上 勲 殿

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会

監 事 河 合 正 治 

監 事 境 正 人 

私は、令和元年度の決算において、帳簿並びに関係書類の監査を行った結果、収支決算書は会計帳簿の金額と一致し、尾張東地区の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認めます。

以上

令和2年度地区運営方針

1 運営方針

愛知連盟中期計画に基づいて「基本原則」に沿ったスカウト活動ができるように、各団への支援を強化し活動的で自立したスカウトを育成し、存在価値を明確にし、社会から高い評価を得ることができるように野外活動を重視し団隊活動での規律を高め「スカウト数の増加」「指導者の養成（確保）」に向けた取組みを計画的に推進することとします。

2 目標

(1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施

①青少年100人に0.8人のスカウト確保し、参加する全ての人が喜びを感じるスカウト運動を目標とします。

②地区内における市制空白地域の解消（岩倉市）。

(2) スカウトが自分の成長と成果を実感し意欲を高める場所を提供し全団から「菊・隼・富士」取得者を目指します。

①地区目標達成に向けた対応をします。

②BS・VS部門への高度な野外プログラム支援の充実をします。

③BVS・CS部門への年代別プログラム支援の充実をします。

(3) 指導者育成の充実

①スカウト教育法を再確認しウッドバッジ研修所・実修所への参加啓蒙をし、一貫支援（担当制）をし、指導者として資質向上を目指します。

②冒険的な野外活動や国際プログラムをスカウトへ適切に指導提供できる指導者の育成をします。

③定型外訓練への参加を促すだけでなく社会人としての資質を高め、魅力ある指導者の養成をします。

3 重点施策

(1) 日本連盟・愛知連盟主催「海外派遣事業」・「国内事業」等に向けた支援

①スカウト・指導者および関連事業への支援態勢強化をします。

(2) 「班（組）活動のできる」団に向けた対応を推進

①少人数団（隊）への他団との合同集会を推進します。

②団訪問等による団への支援を強化します。

③他団への活動見学等の開催に向けた取組みをします。

④第3回東海4県連盟合同野営大会参加の支援をします。

(3) 実効性のある指導者研修

①定型訓練へ参加啓蒙及び定型外訓練の充実をします。

②インサービス・サポートの推進をします。

③ラウンドテーブル（研修の場としての活用）および運営委員会の充実をします。

④活動に必要な外部団体資格取得を支援します。

(4) 危機管理体制の充実強化

①セーフ・フロム・ハームに関わる対策を強化します。

②防災士・防災ボランティアコーディネーターの養成をします。

4 各運営委員会事業計画

別紙資料の通りです。

令和2年(2020年)度 予算(案)

1. 一般会計

<収入の部>

(単位: 円)

科 目	H31年予算	R2年予算	摘 要
1 前 年 度 繰 越 金	573,186	445,310	
2 地 区 費 (継 続 登 録)	1,207,400	1,157,400	20,000×21団+600×1,229人
3 地 区 費 (追 加 登 録)	50,000	50,000	100人
4 県 連 回 付 金	80,000	80,000	
1) 訓 練 研 修 費	50,000	50,000	BS講習会、技能章講習会
2) 緑 の 募 金 還 付 金	20,000	20,000	緑の募金補助金
3) そ の 他 還 付 金	10,000	10,000	
5 雑 収 入	10,000	10,000	寄付金、祝儀、利息等
6 積 立 金 か ら 取 り 崩 し	370,000	1,000,000	
合 計	2,290,586	2,742,710	

<支出の部>

科 目	H31年予算	R2年予算	摘 要
1 訓 練 研 修 費	360,000	270,000	
1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	50,000	30,000	BS講習会、資料他
2) スカウト技能章講習会	40,000	40,000	技能章研修会、資料他
3) コミッショナー研修会	270,000	200,000	研修費、研修所参加費
2 行 事 費	180,000	140,000	
1) 組 織 拡 充 支 援 金	120,000	100,000	スカウトラリー含む
2) ベ ン チ ャ ー 行 事 費	40,000	20,000	議長会等
3) ロ ー バ ー 行 事 費	20,000	20,000	地区ローバース活動費
3 事 業 費	940,000	900,000	
組 織 ・ 拡 充 委 員 会	200,000	180,000	旅費、活動費、地区機関紙、HP維持費
指 導 者 養 成 委 員 会	50,000	60,000	旅費、活動費、資料代他
スカウト進歩委員会	50,000	50,000	"
行 事 ・ 国 際 委 員 会	50,000	50,000	"
総 務 委 員 会	80,000	70,000	防災キャラバン、旅費、活動費、資料代他
コ ミ ッ シ ョ ナ ー	250,000	250,000	地区トレーニングチーム、救急チーム経費
事 務 局	50,000	50,000	スカウトあいち掲載他
運 営 費			
会 議 費	140,000	140,000	会場使用料
事 務 ・ 通 信 費	20,000	20,000	振込手数料
慶 弔 費	50,000	30,000	祝儀他
4 備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品
5 全 国 大 会 関 係 積 立 金	200,000	200,000	日連、県連各大会
6 大 会 支 援 金	370,000	1,000,000	3TC
7 予 備 費	190,586	182,710	
合 計	2,290,586	2,742,710	

2. 特別会計

科 目	前年度残高	R2年収入	R2年支出	次年度繰越	適 要
1 備 品 購 入 積 立 金	398,830	50,000	0	448,830	
2 全 国 大 会 関 係 積 立 金	1,880,000	200,000	1,000,000	1,080,000	大会準備金
合 計	2,278,830	250,000	1,000,000	1,528,830	

資料

令和元年度 隼スカウト・富士スカウト 伝達者名簿 (取 得 順)

隼スカウト

高井 紗璃	春日井第2団
柏本 彩百合	瀬戸第1団
小池 さくら	日進第2団
武田 柁樹	日進第2団

令和元年度運営委員会出席状況表

組織・拡充委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	4/6	67%
犬山第7団	0/6	0%
大口第1団	3/6	50%
尾張旭第1団	6/6	100%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	2/6	33%
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	4/6	67%
春日井第8団	4/6	67%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	6/6	100%
北名古屋第2団	6/6	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/6	67%
江南第1団	3/6	50%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	5/6	83%
小牧第2団	5/6	83%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	5/6	83%
長久手第1団	1/6	17%
日進第1団	3/6	50%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率	97/132	73%

スカウト進歩委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	6/6	100%
犬山第7団	5/6	83%
大口第1団	5/6	83%
尾張旭第1団	4/6	67%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	5/6	83%
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	4/6	67%
春日井第8団	4/6	67%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	4/6	67%
北名古屋第2団	6/6	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	1/6	17%
江南第1団	6/6	100%
江南第3団	5/6	83%
小牧第1団	3/6	50%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	5/6	83%
長久手第1団	1/6	17%
日進第1団	1/6	17%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率	99/132	75%

指導者養成委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	4/6	67%
犬山第7団	5/6	83%
大口第1団	3/6	50%
尾張旭第1団	4/6	67%
春日井第2団	4/6	67%
春日井第3団	2/6	33%
春日井第4団	5/6	83%
春日井第5団	6/6	100%
春日井第8団	2/6	33%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	6/6	100%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	6/6	100%
江南第1団	4/6	67%
江南第3団	5/6	83%
小牧第1団	4/6	67%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	5/6	83%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	5/6	83%
日進第1団	4/6	67%
日進第2団	5/6	83%
平均出席率	99/132	75%

行事国際委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	2/6	33%
犬山第7団	4/6	67%
大口第1団	5/6	83%
尾張旭第1団	2/6	33%
春日井第2団	4/6	67%
春日井第3団	6/6	100%
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	3/6	50%
春日井第8団	2/6	33%
春日井第10団	2/6	33%
北名古屋第1団	4/6	67%
北名古屋第2団	6/6	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	3/6	50%
江南第1団	2/6	33%
江南第3団	4/6	67%
小牧第1団	5/6	83%
小牧第2団	6/6	100%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	2/6	33%
長久手第1団	0/6	0%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率	86/132	65.2%

総務委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	0/5	0%
犬山第7団	2/5	40%
大口第1団	3/5	60%
尾張旭第1団	4/5	80%
春日井第2団	4/5	80%
春日井第3団	5/5	100%
春日井第4団	5/5	100%
春日井第5団	1/5	20%
春日井第8団	4/5	80%
春日井第10団	0/5	0%
北名古屋第1団	5/5	100%
北名古屋第2団	2/5	40%

	出席/開催	出席率
清須第1団	2/5	40%
江南第1団	2/5	40%
江南第3団	2/5	40%
小牧第1団	5/5	100%
小牧第2団	2/5	40%
瀬戸第1団	2/5	40%
瀬戸第6団	3/5	60%
長久手第1団	1/5	20%
日進第1団	5/5	100%
日進第2団	5/5	100%
平均出席率	64/110	58.2%

地 区 役 員

役 務		氏 名	所 属
顧問		舩 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団
		中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団
		横 江 昭 憲	日 進 第 2 団
協議会長		井 上 勲	小 牧 第 2 団
協議会副会長		中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
		河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
		佐 々 由 高	犬 山 第 7 団
地区委員長		平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団
地区副委員長		中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
		中 谷 洋	小 牧 第 1 団
地区コミッショナー		小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
地区副コミッショナー	BVS	石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
	CS	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
	BS	植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
		日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
		鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
	VS	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
		古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
	RS	中 川 大 輔	北 名 古 屋 第 1 団

団担当コミッショナー		串 崎 武 志	春日井第10団
		高 多 宣 彰	日進第1団
		小 林 泰 陸	春日井第4団
		佐 藤 慶 子	春日井第2団
		椎 葉 育 美	江南第3団
		内 田 志 郎	春日井第4団
		宮 下 彰 洋	犬山第7団
組織・拡充委員会	委員長	石 原 昌 幸	江南第3団
	副委員長	竹 内 久	瀬戸第1団
指導者養成委員会	委員長	伊 吹 登	長久手第1団
	副委員長	山 口 貴 美 江	春日井第10団
		藤 井 孝 之	小牧第2団
スカウト進歩委員会	委員長	八 橋 隆	江南第1団
	副委員長	金 田 高	日進第2団
行事・国際委員会	委員長	井 上 文 義	瀬戸第1団
	副委員長	中 田 洋 二	北名古屋第1団
総務委員会	委員長	大 谷 茂	北名古屋第1団
	副委員長	田 口 澄 雄	瀬戸第6団
事務局	事務長	岩 花 竜 章	清須第1団
	副事務長	中 村 里 美	北名古屋第2団
	会計係	志 水 幹	日進第2団
ローバース代表委員		藤 井 聖 大	小牧第2団
		佐 伯 駿	小牧第1団
監事		境 正 人	犬山第5団
		河 合 正 治	大口第1団

ラウンドテーブル [出席率 %]

[illegible]

令和元年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟	かっこう章	椎葉浩志	江南第3団
	特別年功章	5年	16名
		10年	10名
		15年	5名
		20年	5名
		10年	犬山第7団 ビーバー隊
			犬山第7団 カブ隊
			犬山第7団 ボーイ隊
			犬山第7団 ベンチャー隊
			犬山第7団 ローバー隊
		25年	江南第3団 ローバー隊
		30年	江南第1団 ビーバー隊
			尾張旭第1団 ビーバー隊
			長久手第1団 ビーバー隊
		35年	北名古屋第2団 ベンチャー隊
			長久手第1団 ベンチャー隊
			春日井第4団 ローバー隊
			春日井第8団 ベンチャー隊
		40年	春日井第3団 カブ隊
		45年	日進第1団 ボーイ隊
			小牧第2団 カブ隊
			小牧第2団 ボーイ隊
		50年	江南第1団 ベンチャー隊
			小牧第1団 カブ隊
		55年	江南第1団 ボーイ隊
			春日井第3団 ボーイ隊

愛知連盟	県連有功章	水 谷 優 介	春日井第2団 ベンチャー隊長
		古 川 秀 晴	犬山第7団 ベンチャー隊長
		古 木 啓 介	小牧第1団 ベンチャー隊長
		小 林 志 穂	春日井第2団 カブ隊長
		澤 木 亮 子	春日井第2団 団委員
		山 田 羊 子	小牧第1団 団委員
		緒 方 利 昭	北名古屋第1団 カブ副長
		岩 瀬 俊 子	小牧第1団 団委員
		大 竹 斉 子	瀬戸第1団 ローバー副長
		中 川 剛	小牧第1団 団委員
		船 橋 玲 子	小牧第1団 ボーイ副長
		桜 井 真 之 介	小牧第1団 団委員
		栗 本 雅 仁	小牧第1団 カブ副長
		田 崎 あ や 子	小牧第1団 ビーバー副長
	顕彰記章	渡 邊 隼 士	江南第1団
		高 野 伸 一 郎	春日井第8団
		日 比 野 菜 々 子	江南第3団
		島 村 真 人	犬山第7団
		上 田 貴 大	春日井第8団
		中 村 稔	江南第1団

尾張東地区トレーニングチームメンバー

			NO	役 務	氏 名	所 属 団
地 レ ー ニ ン グ チ ー ム	連 ト ニ グ チ ー ム	日 本 連 盟	1	リーダートレーナー	中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
			1	副リーダートレーナー	森 裕 次	瀬 戸 第 6 団
			2	副リーダートレーナー	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団
			3	副リーダートレーナー	中 村 友 一	北名古屋第2団
			4	副リーダートレーナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団
			5	副リーダートレーナー	中 谷 真 里	小 牧 第 1 団
			6	副リーダートレーナー	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
			7	副リーダートレーナー	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
			8	副リーダートレーナー	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
			9	副リーダートレーナー	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 1 0 団
			10	副リーダートレーナー	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
			11	副リーダートレーナー	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
		県 チ ー ム	1	県チームスタッフ	宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
			2	県チームスタッフ	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
			3	県チームスタッフ	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
			4	県チームスタッフ	河 村 武 人	北名古屋第1団
			5	県チームスタッフ	植 木 治 雄	北名古屋第1団
			6	県チームスタッフ	栗 本 雅 仁	小 牧 第 1 団
			7	県チームスタッフ	古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
			8	県チームスタッフ	石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
		地 区 チ ー ム	1	地区チームチーフ	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
			2	地区チームスタッフ	伊 吹 登	長 久 手 1 団
			3	地区チームスタッフ	中 村 里 美	北名古屋第2団
			4	地区チームスタッフ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団
			5	地区チームスタッフ	古 木 涉 太	小 牧 第 1 団
			6	地区チームスタッフ	小 川 恭 平	瀬 戸 第 1 団
			7	地区チームスタッフ	中 川 大 輔	北名古屋第1団
			8	地区チームスタッフ	小 林 香 織	春 日 井 第 8 団
			9	地区チームスタッフ	佐 藤 精	日 進 第 2 団
			10	地区チームスタッフ	井 上 勲	小 牧 第 2 団
			11	地区チームスタッフ	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 8 団

※休務者は記載しておりません。

尾張東地区救急チームメンバー

No	役 務	氏 名	所 属 団
1	チ ー フ	片 谷 文	春 日 井 第 5 団
2	サ ブ チ ー フ	続 木 雅 子	春 日 井 第 4 団
3	事 務 局	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
4		杉 本 京 子	犬 山 第 5 団
5		中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
6		西 下 秀 志	北 名 古 屋 第 2 団
7		伊 藤 栄 志	江 南 第 3 団
8		舩 橋 菜 月	春 日 井 第 2 団
9		五 井 忍	春 日 井 第 4 団
10		小 林 泰 陸	春 日 井 第 4 団
11		串 崎 武 志	春 日 井 第 10 団
12		藤 井 孝 之	小 牧 第 2 団
13		松 原 彩 香	瀬 戸 第 1 団
14		小 川 万 里 子	瀬 戸 第 6 団
15		高 多 宣 彰	日 進 第 1 団

尾張東地区 WEB チームメンバー

No	役 務	氏 名	所 属 団
1	ス タ ッ フ	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団
2	ス タ ッ フ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団

組織拡充委員会 各四半期活動報告

令和元年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		組織拡充委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(平成31年4月～令和2年3月)
目(1)	地区誌はやぶさの発行及びスカウトあいち投稿支援をします	年3回(7月、10月、3月)発行	地区誌はやぶさ原稿募集(6月末〆切)	8月4日はやぶさ配付 原稿募集(9月末〆切)	11月4日はやぶさ配付	原稿募集(2月末〆切)	今年度から紙面構成見直しました。
	地区ホームページ、フェイスブックページの運営を行います	WEBチームにて随時更新	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新	組織・拡充委員会としての関与が少なかった。
	講演会を実施します	講師選任・日程・会場確保	講師選任・依頼	日程・会場検討・講演会企画	会場確保・案内配付・12月8日講演会開催(26名参加)	評価反省	参加者が少なかったため、募集方法など見直します。
	募集ツールを制作します	内容・予算検討、製作	昨年度企画のクリアファイル各団50個配付	勧誘行事おみやげ作品集とし、ネタ収集作成	WEBチームにて作業	勧誘行事おみやげ作品集を地区HPへ掲載	クリアファイル販売実績ゼロでした。作品集は内容を充実していきます。
重(2) ③	他団との合同見学会等の開催に向けた取組みをします	内容検討			全国社会連携・広報フォーラム2019参加募集	1月19日(日)全国社会連携・広報フォーラム2019参加	テーマを明確にして検討します。

スカウト進歩委員会 各四半期活動報告

令和元年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		スカウト進歩委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(平成31年4月～令和2年3月)
目(2) ①	各級別目標を管理し月ごとの団面接報告に基づき進捗を確認目標達成を目指します	団面接報告を毎月集計し進捗を確認します	富士0/0、隼0/17、菊1/22、1級0/50、2級12/67、初級39/47	富士0/0、隼1/17、菊2/22、1級0/50、2級15/67、初級40/47	富士0/0、隼1/17、菊9/22、1級1/50、2級40/67、初級43/47	富士0/0、隼4/17、菊13/22、1級14/50、2級44/67、初級43/47	ベンチャー部門の進級が殆どありません。地区、団を挙げてベンチャーの進歩を支援する必要があります。
	速やかな地区進級面接を実施します	団からの申請に速やかに対応面接します	菊1名	菊1名、隼1名	菊7名	菊3名、隼3名	3月コロナウィルスの影響で十分な面接が出来なかった。
目(2) ②	技能章講習会を通じスキルアップを図ります	技能章講習会6回(新技能章含む)開催	救急章27名参加、薬事章18名参加	自転車章5名参加	救急章6名参加	茶道章6名参加 技能章取得者査員認定106件隊長認定186件	バイオニアリング講習会が実施出来なかった。
	カブ完修の調査で早期完修を促し、小枝章5個取得の集計をし木の葉章の取得を増やします	カブブックの早期完修を支援します			52名完修	96名完修 小枝章5個は3名	12月までに半数以上のスカウトが完修出来ました。
重(3) ③	運営委員会での情報交換会で新しい意見を取り入れ委員会を活性化させます	情報交換会を実施し各団の状況把握、意見を収集	部門別支援について協議	進級見込み、支援について協議	隊長承認技能章、フロンTRANサースカウトプログラム、来期技能章について協議	来期目標について	意見は出るがそこからの展開が出来なかった。
	全ての委員に技能章講習会への奉仕を通じスキルアップと責務実行を求めます	スカウト参加実績、団委員奉仕実績などの集計表を配布して委員の意識向上を図ります	救急章講師8名奉仕5名隊指導者3名 薬事章講師7名奉仕4名隊指導者2名	自転車章講師4名奉仕5名隊指導者4名	救急章講師5名奉仕5名隊指導者3名	茶道章講師2名奉仕3名隊指導者1名	奉仕する人が限られてきています。

指導者養成委員会 各四半期活動報告

令和元年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		指導者養成委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(平成31年4月～令和2年3月)
目(3) ①	指導者育成の充実	定型外訓練の「訓練内容・目標」の変化に柔軟に対応し、参加者の研修環境の向上を図ります。	・5月19日 DL研修会開催 参加者20名 ・6月9日 アウトドア講習会開催 参加者12名	・9月1日 BS講習会31～11開催 参加者18名 ・9月21日 BS隊指導者研修会(3地区合同)開催 参加者11名 ・9月21日 BVS隊指導者研修会開催 参加者6名	・11月10日 県連盟70周年事業へ参加 ・11月24日 救急法講習会開催 参加者8名	・2月2日 県連盟主催定型外訓練(課程別)参加者6名 ・3月8日 BS講習会31～17中止 ・3月22日 野営法研修会Ⅱ中止	・定型外訓練(全6回)参加者63名 ・定型訓練(BS講習会・1回))参加者18名
重(3) ②	実効性のある指導者研修	インサービス・サポートを充実させるべく、トレーニングチームと協働し指導者への支援効果を高めます。	・6月30日 トレーニングチーム研修会に参加	・8月25日 第3回委員会にて、指導者研修の内容充実に関して協議	・10月6日 県連盟主催「指導者養成講習会」へ参加	・3月20日 県連盟主催「人間力向上研修」中止	・県連盟主催で従来にない指導者研修(定型外)が実施されました。
重(3) ③	運営委員会の充実	委員自身の研修の場として、委員会の場を活用します。(訓練体制・体系の理解等)	・4月21日 第1回委員会開催(今年度役務の分担等) ・6月16日 第2回委員会開催(グループ討議等) ・5月15日 県連盟指導者養成委員会へ参加	・7月10日 県連盟指導者養成委員会へ参加 ・8月25日 第3回委員会開催(第1四半期の評価反省、第3・4四半期役務の分担等) ・9月11日 県連盟指導者養成委員会へ参加	・10月6日 第4回委員会開催(第2四半期の評価反省、第3・4四半期役務の分担等) ・12月15日第5回委員会開催(第3四半期の評価反省・第4四半期役務の分担・次年度計画等) ・11月13日 県連盟指導者養成委員会へ参加	・1月17日 県連盟指導者養成委員会へ参加 ・2月9日 県連盟70周年事業(植樹)実施 ・2月16日 第6回委員会開催(次年度計画の確認と奉仕分担調整)	・期間中全6回の委員会を開催(平均参加率75%) ・訓練参加者増加に向け、委員会としての業務改善・参加意欲向上等の検討は、次年度も継続課題とします。

地区ローバース 各四半期活動報告

令和元年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		地区ローバース 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(平成31年4月～令和2年3月)
地区ローバース	RS対象の活動および情報交換	定例会を通じ海外派遣事業の情報を展開し、RSとしてできる支援を考え実行します。	VSから上進したRSに対し、地区ローバースの役割について情報共有を行いました。	—	定例会において韓国植樹派遣について募集を行い、参加を促しました。	オーストラリア森林火災に対し地区ローバース定例会で募金を行いました。	
		防災ボランティア・コーディネーター養成講座への参加を促し、防災への知識を持ったRSを増やします。	—	防災キャラバンの奉仕を通して防災に対する知見を深めることができました。	—	—	
		アクティビティや地区行事への奉仕といった地区ローバースの活動をFacebookなどSNSを通して多くの人に知ってもらうよう取り組みます。	RS活動に対しSNSを活用するよう打ち合わせを実施しました。	—	RSの地区への参加率を上げるべくSNSの活用や定例会の開催方法について今一度協議しました。	—	

コミッショナー 各四半期活動報告

令和元年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		地区コミッショナーグループ 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(平成31年4月～令和元年3月)
C/M		24WSJ、フィルモント派遣者への支援を行います。	24WSJ派遣地域(尾張西、岐阜連盟)との支援体制の確立、事前集会の食事支援等の調整を実施。派遣団事前訓練施設との調整、打合せを実施しました。	24WSJ事前訓練への事前調整、施設および県連盟との調整を行いました。			24WSJ、フィルモント派遣の事業について十分な支援を行うことができました。
		スカウト活動の標準化を促し、スカウト活動の楽しさを通して個々のスカウトの成長を図り、スカウト及び保護者の活動への満足度を上げることで、活動を活性化させます。	1班しかない隊への支援について、BS担当コミと協議し、近隣隊との合同集会を推奨するための取り組みについて協議しました。	保護者アンケートを団担当コミッショナーを中心として企画し実施した。BVS、CS、BS、VS部門における保護者の活動に関する満足度等を調査しました。	アンケートの結果を受け、各部門担当コミッショナーと問題の共有を行い、部門における問題点を整理しました。	部門における問題点を改善するための政策について議論し、次年度研修計画の検討を実施しました。	B/S隊として、実効性のある隊支援を行うことができていません。アンケートについては、保護者の意見や団・隊への不満など、改善点を明確にすることができ、今後の重点的改善点を明確にできた。
		指導者訓練および個別支援により、指導者のスキルアップを促し、楽しく、安全な活動が提供できるように研修を行います。	BVS、CS部門において、年間のRT計画に基づいたRT内研修を行い、今までは異なる研修を実施。定形外訓練により、DL向けの研修を行いました。	夏季キャンプ等で実践できるアウトドア講習会、野営法について実施し、保護者ならびに指導者への支援を実施しました。		新型肺炎ウイルス対策に伴い、キャンパススキルなどの研修が中止になり、支援の方法を個別支援に切り替え対応しました。	指導者訓練への参加者が減っている。加盟員の減少もあるが、研修ニーズと現状が完全にはマッチングしていない事も要因の一つと考えます。たのしい、ためになる、すぐに応用できるを考慮した取り組みが必要と考えます。
		セーフ・フロム・ハーム研修及び研究会を行い、安全な活動を提供できるようにします。	合同RTを実施し、バディールール等の新しく追加された項目について研修を実施しました。		SFHについて地区内での対応方法を検討しました。SFH会議を招集しました。	VS、RS部門とSFHに関連する議題について検討を行いました。	セーム・フロム・ハームの対応については、継続して検証を行います。
		地区トレーニングスタッフの技能向上を目指します。	OJTによるチーム員への支援を実施しました。	地区内TT向け講習会を実施しました。	OJTによるチーム員への支援を実施しました。	OJTによるチーム員への支援を実施しました。	トレーニングスタッフとしての研究、研鑽が必要です。
		地区救急チームを専門化させ、実践的な救急法の考え方のもと、どの部門でも安心した活動が行えるように支援・研修を行います。		VS向け救急章講習会の支援を実施しました。	VS向け救急章講習会の支援を実施しました。		実質的見地な考えに基づき、研修奉仕等を行っていることが評価される。専門的フロ集団として、個々の専門性を発揮されることが期待できる。
BVS	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	ビーバースカウトの特性及び部門間の繋がりを理解したプログラムの立案ができるように、研修・研究を行います。	6月のRTでキャンプファイヤにプログラムにおける、BS-CS-BVSの繋がりを説明してBVS部門ではどのような参加の仕方が適切かを検討しました。	9月のRTで野外料理プログラムにおける部門間の繋がりを意識したプログラムの研究を行ないました。	11月のRTではbvs隊でできる社会体験や交流について研究をしました。	1月のRTでbvs隊でできる「ちかい」と「おきて」の実践とは何か?をテーマに研究を行いました。	各隊長どうしが意見を言いやすい環境ができつつあり、客観的な評価や考えが身につきつつあります。その考えがプログラムに反映されることが期待できました。
		定型訓練(3名以上)、定型外訓練(15名以上)への参加を促し、修了後も継続的な支援を行います。	5月の研修所に2名、県のソングセミナーに2名BVS部門から参加しました。	9月のBVS研修会に6名、野営法(キャンプファイヤー)に1名参加しました。	特になし	特になし	積極的な研修参加を頂けたと思います。次年度も隊長の研鑽が期待できます。
		エリアごとの合同隊集会が実施できるように各種支援を行います。	特になし	小牧エリアで合同隊集会を実施しました。	3月に北エリアと春日井エリアで合同隊集会を実施する予定なのでRTで協議しました。	次年度のbvsラリーに向けて協議をしました。	コロナウイルスの関係で、年度末に予定されていた合同集会等が中止になりました。
CS		カブスカウトのやくそくとカブ隊のさだめについて、スカウトの成長に見合った指導が適切にできるように取り組みます。	----	----	スカウトの成長に寄与するために、この部門の基本的な活動と自隊との相違を検討しました。	この部門における進歩とプログラムの関係を協議し、自隊で活用できるための起点とできるように考察しました	指導者が、プログラム作成ならびに活動の際には、カブスカウトのやくそくとカブ隊のさだめを意識することが必要であることを再認識できたと考えます。
		この年代の特性を理解し、進歩制度のねらいを教授した、組集会から隊集会までの楽しいプログラムを実施、展開できるように研修、研究を実施します。	----	夏季キャンプを前に、安全で楽しいプログラムを実施するために、この部門で必要とされる救急対応について医療従事者より指導をいただきました。	基本的な組集会の運営方法と自隊の現状から、問題・原因・解決策をグループで共有・協議をして次年度	進歩を意識したプログラム作成において、プログラムプロセスを再確認し、実際に活用できる内容を考察しました。	グループワークでプログラムを考えることにより、多くの意見を参考にすることができたと考えますが、実際に活用できたかどうか追跡調査ができませんでした。
		少人数の隊に対して、近隣の隊との合同隊集会を実施できるように支援をします。	----	----	----	(表彰を通じて、対班競点による教育的効果を考察し、この運動における常用性を認識しました)	年間プログラムを確認したところ、班次以上の隊ですでに実施しているため、その成果をもとに更に効果的に実施できるように考察する機会をと考えています。
		年代と活動に応じたセーフ・フロム・ハームへの取り組みを推進します。	全部門での共通認識を再確認し、当該部門における問題点や不明点を協議し、以後意識的に考察することとしました。	様々な立場の相手とのコミュニケーションをとる際に必要とされる、寄り添う態度や聴くということの大切さの難しさを体験から考察しました。	----	----	常に意識をしていただけるようになったと考えますが、対応の中には不明と考えらる点もありますので、一層の配慮ができるようになることが必要と考えます。
		少人数団(隊)への他団体との合同隊集会を推進し、団訪問により支援を行います。	-----	副コミによる夏野営へ訪問し、活動実態を把握及びプログラム・活動支援を実施致しました。	-----	合同集会は、隊集会のみの実施に踏み留まった実態を踏まえ、班長訓練や班集会も合同集会での実施するために近隣団で事前調整すると共に、次年度のプログラムへの反映できるよう支援を実施致しました。	県連事業ともリンクし、BS活動の一番のネックとなっているが、少人数団への現実的なアドバイスや、積極的支援にかけた。3TCへ向けての支援を通じて、積極的な現実的対応による支援を行える様にしていきます。
BS		進級・進歩に必要なスキル支援を行い、菊スカウト育成、技能章取得を目指します。	-----	進級・進歩における隊長承認、進級記録、団面接の処理、手続きに関する事例研究を展開致しました。	-----	進級・進歩達成に向けた支援を実施するとともに、より確実な進級、進歩計画を目指した研究を実施した。(2019年度：菊スカウト：〇〇	効果的な支援にかけた。RT内での進歩支援を活発に行い、現実的な対応を研究していきます。
		隊長ラウンドテーブルで隊運営に必要なプログラムプロセスの研究等により、、3TCに向けたプログラム支援、指導者育成を目指します。	-----	近隣団と合同集会の実態把握、事例を元に課題・問題点の抽出、研究を実施致しました。	3TC編成に向けた地区内調整を展開致しました。	各団における年間計画の評価・反省を行い、来年度の年間プログラム立案に向けた研究を実施した。(3TCの事前訓練調整を含む)	3TC編成隊、支援方針をまどめ実施しました。

コミッショナー 各四半期活動報告（つづき）

令和元年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		地区コミッショナーグループ 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		（4月～6月）	（7月～9月）	（10月～12月）	（1月～3月）	（平成31年4月～令和元年3月）
V S	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	セーフ・フローム・ハームを重点的に推進します。	地区としてセーム・フローム・ハーム研修を実施し、部門別討議を展開致しました。	-----	-----	-----	VS隊におけるSNS利用のルールづくりを実施しました。
		地区VS行事の企画・運営を「ラウンドテーブルとしてのプロジェクト」として位置づけ、年間を通してVS部門指導者への研修を行うとともに、隊指導者のプロジェクト指導技能への理解と向上を図ります。	地区VS行事を戦略的に行うための計画をラウンドテーブルにて説明し、了解を得ました。	7月RTにて、8月17日「地区VSの集い」の募集、9月16日「防災キャラバン2019」を地区VS行事として実施することを確認し、各海外派遣の派遣指導者、各隊指導者の協力を得て、その準備を行いました。防災キャラバンでの奉仕をゴールに設定した技能章取得も提案し、複数団の指導者の協力を経てバイオニアリングの訓練を実施しました。「地区VSの集い」には11名、「防災キャラバン2019」には26名のスカウトが参加しました。	11月RTにて、3月実施のVS大会の具体的なプログラム検討を行い、各隊指導者をグループ分けし、プログラムや運営について検討することを通して、グループワークや「計画」についての研修を行いました。また12月は各グループでの作業を行い、大会実施に向けた準備を行うことを通じて、「準備活動」を行いました。	3月の実施を計画した地区VS大会「尾張富士特別野営2020」に向けて、行事の企画・運営をラウンドテーブルの研修として進め、具体的にVSに何をどこまで求めるのか、指導者はどういう支援が必要か等を学ぶ機会を設け、指導者の指導能力向上に一定の成果を残すことが出来ました。	3月のVS大会直前まで、各種調整やプログラム案、その他運営にかかわることを協議し進めていたが、新型コロナウイルスの影響により中止となったしまいました。しかし、個々に至るプロセスは、各VS隊長のプログラム開発能力や計画、実行能力の向上につながったと評価しています。
		継続して全国の隊訪問を実施し、地区内各隊の運営状況を把握して、「スカウトにとってプラスとなるベンチャー活動」に必要な適切な個別支援を実施します。	隊訪問については実施できませんでした。	隊訪問については実施できませんでした。7月RTにて、各隊の現状(スカウト実働数の把握を含む)と夏の活動について報告を行いました。また、年間プログラムを集約し、今後の隊訪問計画の立案の素材集めを行いました。	隊訪問については実施できませんでした。第3四半期を通じて、団活塾において進捗状況の改善について検討を行いました。11/22の「団活塾」でBS・VS進捗状況についてのプレゼンを行い、BS・VS隊への団委員の支援について参加者に理解いただく場を持ちました。	隊訪問については一部の隊しか実行ができませんでしたが、地区内の個別のスカウトの進捗状況を把握することにより、どの点についてコミッショナーの支援が必要か検討を行うことが出来ました。次年度に具体的な策を講じます。	結果として富士スカウトを地区内から誕生させることができなかった。後半期に個別スカウトの進捗状況を把握することにより、支援のポイントを絞り込むことができるようになり、次年度への支援を重点的に行うことができるようになった事は評価できます。
		進歩課目の基準を隊指導者とともに検討し、地区における方針を明確にします。それにより、単・富士の指導をしやすくし、進歩制度によるスカウトの成長に寄与します。	6月RTで、技能章の申請手続き（隊長認定・考査員認定）および技能章講習会への隊指導者の関わり方について確認をしました。また、四半期を通して各隊および各スカウトの進捗状況を把握するために様式を定め、調査を行う準備を行いました。	進歩状況を把握したうえで、各隊でできていること・できていないことを分析し、その後の対応を検討する方向性をコミッショナー間で確認しました。	集章における「2泊3日の移動野営」をVS大会を利用してどう実現するかを検討しました。その結果、参加VSに計画書を作成させて参加させる、徒歩行程が20km以上になるように設定する、2～3名でのパティまたはチームで参加する、という方針を共通理解とし、また、計画書に必要な項目を確認、各隊で計画書作成を支援できるように取り組みました。	今年度この課題については取り組むことができませんでした。地区内ベンチャースカウトの進歩の遅れは大きな課題になっており、次年度に継続して対応します。	十分に取り組みませんでした。
		地区VS行事として「尾張富士特別野営2019」を開催します。スカウト同士の交流とハイレベルな野外活動を柱として展開し、「魅力あるVS活動」を見える形でスカウトに示し、スカウト自身が成長を実感できる活動を隊指導者とともに実行します。		尾張富士特別野営について、7月RTでニーズ集約、地区VSの集いにて企画の検討、9月RTにて具体的企画検討を行いました。コミッショナーでは、野営場の確保可否等下打ち合わせを行い、企画会議に行事実施提案をしました。	11月RTにて具体的な検討を各隊長とともにに行い、協力者を得て、場所やプログラムの確保に向けて、期中を通じて活動しました。また、参加募集要項を作成し、1月地区委員会での承認に向けて調整を行いました。	令和2年3月20日～22日、春日井市～犬山市周辺を舞台に「尾張東地区VS大会『尾張富士特別野営2020』」を計画し、準備を進めました。が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、中止としました。今回のノウハウを生かして、次年度の実施を前向きに検討します。	新型コロナウイルスの影響により中止
R S		定例会を通じ海外派遣事業の情報を展開し、RSとしてできる支援を考え実行します。	該当の募集なし	該当の募集なし	次年度の韓国植樹派遣に3名のスカウトが応募。	新型肺炎の感染防止のため、韓国植樹派遣は延期となった。	新型コロナウイルスの影響により中止
		防災ボランティア・コーディネーター養成講座への参加を促し、防災への知識を持ったRSを増やします。 アクティビティや地区行事への奉仕といった地区ローバースの活動をFacebookなどSNSを通じて多くの人に知って	定例会等において募集を行ったものの、参加者を出すことが出来なかった。 5月の合同RTにおいて、セーフフロムハームの研修を実施。	防災キャラバン運営に地区ローバースが参画し、当日の運営にも十数名の参加者があったものの、7～9月はRTの開催なし。	－ 10月のRTは出席者が極めて少なく、効果的な研修が実施できなかった。	－ 2月のRTでは、ローバースカウトに対する情報伝達方法に関する研究や自団におけるロー	防災についての計画的な取り組みができませんでした。 RS関係者以外への情報発信に再考が必要です。
団 担 当		① 少人数団(隊)の活動に対して助言と支援を行います。目	近隣団の隊集会见学及び体験集会参加し確認しました。	近隣団の集会に参加し支援した。			担当コミッショナートは異なるアプローチで合同集会への支援を行いました。
		② 団訪問、情報提供及び団委員長サミット等による団活性化の支援をします。目標全個団	16個団の育成総会に出席し、担当変更の顔合わせを行った。	団委員サミット準備を行いました。	台風の影響で延期しましたが、「2019団サミット4」開催しました。スカウト教育法の大切さを協議しました。		団委員向けに、スカウト教育法研修を行い、スカウト活動とは何か？について考えていただきました。
		③ スカウト増員を目的とした調査と団活動を支援します。目標5件（11市町）	団委員長及び団の会議出席し、総会日程、体験集会日程確認しました。	団継続登録審査の準備を始めました。	団継続登録審査の準備・事前手配を行いました。	審継続査連営協力を行いました。ボーイスカウトPRグッズとして冊子を作成しました。	特筆すべきは保護者アンケートの実施です。この結果により、様々な問題点があることを認識でき、かつそ改善に向けた取り組みを行うことができることは大きな力になると評価しています。防災キャラバンを通したボーイスカウトのPRなど、スカウト増員に直接関与しないが、対外的なアピールとしては重要な事であることを再認識できました。次年度以降はこの経験をもとにし、スカウト増員に向けた現実的政策実行のための経験とすることができました。
			団活塾参加勧誘と開始			塾活動の結果まとめを準備中。コロナウイルスの自粛により発表は出来ず。	
			スカウト増員へ向けた募集行事調査・「募集活動計画実施報告」配布・見学への促しを行った。	防災キャラバンの開催に向けて積極関与を行いました。		全団の募集活動の記録を団委員長会議、審査等で使用す、促しを計った。	
			団活塾「加盟員の増」テーマで今期の活動展開開始	保護者アンケートを実施し、分析を行いました。	アンケート回答の分析と結果発表を団委員、隊指導者へ向けて行いました。参加者48名 20ヶ団		

令和2年度・尾張東地区諸会議/行事

開催会議名称		開催日（基本計画）	時間	場 所（部屋名）	2/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
地区諸会議	地区協議会（総会を含む）		18:00		12									24			11				
	地区委員会	指定月 第 2 日曜日	19:00	レディヤン 研 修 室		10	14	12		13		8	13	11		7・21		9	13	11	
	団委員長会議	指定月 第 2 土曜日	19:00	レディヤン 研 修 室	4										6		3				
	企画会議	指定月 指定日時	9:00	指定場所 * サミット							10										
			17:30	レディヤン 第 1 集会室	26	24	28		23	27	25	29	26	17	27	14	25	23	27		22
	地区コミ会議	偶数月 第 4 日曜日	17:30	レディヤン 第 1 集会室		17						15	26								
			19:00						23						27						
	団担当コミ会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第 1 集会室	4		14		23	13		8	26		6		4		13		
	地区名誉会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第 1 会議室											21						
	組織・拡充委員会	指定月 指定日	19:00	指定場所 第 4 会議室		30		19		12		28		24		14		30		10	
	総務委員会	指定月 指定日	19:00	レディヤン 第 2 会議室	5		13			12		7		31	6		4		5		
	指導者養成委員会			第 1 会議室	19		28		23		4		20		14		18		27		22
	スカウト進歩委員会	偶数月 第 3 日曜日	19:00	レディヤン 第 2 会議室	19		28		23		4		20		21		18		27		22
	行事・国際委員会			第 4 会議室	19		28		23		4		20		21		18		27		15
	R T	B V S 隊		第 4 会議室		24	28			27		23		17		28		23		25	
		C S 隊	指定月 第 4 日曜日	レディヤン 第 2 会議室		17	21			27		15		17		21		23		25	
		B S 隊	（一部変更あり）	第 1 会議室		24	28	19		27	25	23		17		28		23		25	
		V S 隊	指定月 第 3 日曜日	レディヤン 第 2 会議室		24	28	26		27	25	23		17		28		23		25	
		R S 隊	指定月 指定日時	レディヤン	11		20				24										
	地区ローパス会議	指定月 指定日時	19:00	レディヤン	5						24		26・27		27						
	地区団登録審査	地区													21・27						
スカウト対象	VS.技能章（茶道章）	スカウト進歩委員会												10							
	VS.一泊技能章										24~25										
	VS.技能章（救急）					7					18			17							
	VS.技能章（薬事）													16							
	スカウトフォーラム								3TC												
指導者対象	地区VS行事													○		○					
	地区トレーニングチーム会議	地区 T T		（ ）はチーム会議						6						14					
	定型外訓練	デンリーダー研修会	指導者養成委員会	小牧市東部市民センター（予定）		24															
		スカウトスキル研修会		未定			6~7														
		アウトドア技能講習会		未定				5													
		スカウトゲーム&ソング研究会		未定				19													
		スキルトレーニング研修会1		未定					30												
		BS部門研修会		未定						27											
		特別講演会（発達障児との向		未定							17										
		安全衛生・救急法		未定								15									
		スキルトレーニング研修会2		未定												7					
		BVS研修会（尾張ブロック）		未定									6								
	定型訓練	ボーイスカウト講習会 2-11	指導者養成委員会	小牧青年の家						6											
		ボーイスカウト講習会 2-17		尾張旭スカイワード												14					
		WB研 SC愛知第12期		新城 吉川野営場								31~3									
		WB研 SC愛知第13期		新城 吉川野営場								31~3									
		WB研 SC愛知第14期		新城 吉川野営場								20~23									
		WB研 課程別（BVS・CS）		未定								29									
		WB研 課程別（BS・VS）		未定										6							
		ウッドクラフトコース		新城 吉川野営場						17~22											
		団委員長実修所 第29期		新城 吉川野営場								21~23									
		団委員長実修所 第41期		新東工業研修センター								21~23									
	日本連盟 全国大会		神奈川県・横浜市			23~24															
	愛知連盟 年次総会		名古屋国際センター別棟				21												20		
	第14回韓国ソウル北部連盟緑化P		韓国ソウル市近郊	未定																	
	第3回 東海4県連盟合同野営大会		高山市日和田高原					26*	7~12												
	防災ボランティアコーディネーター養成講座							5													
	RS対象「リクルート懇談会」									8											
	次世代グローバル指導者研修						5~7														
	セム・フロム・ハムセミナー							12													
	防災キャラバン		イオン春日井(予定)																		

祝日振替休日が月曜日にある場合は、月曜日に会議を開催する

*7月26日は、壮行会

但し会議重複がある場合は地区委員会を優先する

会議室の変更もあります